

白河市の未来へ虹をかける7つの重点施策



1 産業の振興

新規	白河が応援、白河を応援プロジェクト事業	2,000万円
拡充	農業の未来をつくるスマート農業推進事業	1,400万円
継続	サテライトオフィス推進事業	1,787万円

白河が応援、白河を応援プロジェクト事業
「知ってもらう」「食べてもらう」「来てもらう」の視点で、新聞広告やインフルエンサーなどを通して、本市の魅力ある情報を継続して発信します。

2 女性・若者を応援

新規	福祉・介護人材確保支援事業	941万4千円
拡充	白河っ子すくすく応援クーポン券支給事業	4,190万5千円
	保育園・幼稚園ICT化事業	985万5千円

福祉・介護人材確保支援事業
地域の介護人材を確保するため、介護職を志す方や、しらかわ介護福祉専門学校と専門学校生を支援します。

3 地域の魅力向上

継続	しらかわ観光ステーション整備事業	1億4,527万円
	福島ピエンナーレ2022「風月の芸術祭in白河」開催事業	500万円
	南湖公園史跡整備事業	3,786万円

しらかわ観光ステーション整備事業
JR白河駅舎に隣接する既存建物を、体験型の観光案内所として、コンピエーニュ広場と一体的に整備します。

4 ウィズコロナ・アフターコロナ

新規	白河お試し住宅まちなかベース整備事業	724万9千円
継続	新型コロナウイルスワクチン接種事業	2億1,454万3千円
	新生児特別定額給付金支援事業	2,007万8千円

白河お試し住宅まちなかベース整備事業
中心市街地エリアの空き家を「暮らし体験住宅」に改修します。改修には、建築を学ぶ大学生などのアイデアを生かします。

5 市民の暮らしを守る

拡充	しらかわセーフロード事業	2億円
	予約型乗合タクシー実証実験事業	1,047万5千円
継続	高齢者見守り生活支援事業	1,937万7千円

しらかわセーフロード事業
市民が安心して生活できるよう、現場打ち側溝などの改修を行い、道路の安全を確保し、居住環境の向上を図ります。

6 デジタル化の推進

新規	デジタル・デバйд対策事業	89万8千円
	しらかわデジタルミュージアム公開事業	597万3千円
拡充	ICT活用行政スマート化事業	1,849万1千円

デジタル・デバйд対策事業
デジタル機器に不慣れな高齢者向けに、スマートフォン教室を開催し、世代間に生じる情報格差の解消に取り組みます。

7 脱炭素チャレンジ

新規	脱炭素チャレンジしらかわ事業	1,940万3千円
	小中学校施設照明LED化推進事業	904万円

脱炭素チャレンジしらかわ事業
市民の環境保全への関心を高める取り組みの推進と、本市の脱炭素に向けた「地球温暖化対策実行計画」を策定します。

※1～7は、主な事業を抜粋

特別会計予算額

会計名	予算額	前年度比 (%)
小田川財産区	300万3千円	2.8
大屋財産区	162万7千円	314.0
樋ヶ沢財産区	45万4千円	△1.9
国民健康保険	56億9,709万円	0.3
後期高齢者医療	6億8,139万2千円	1.1
介護保険	57億9,749万9千円	0.3
地方卸売市場	1,857万8千円	0.2
合計	121億9,964万3千円	0.4

公営企業会計予算額

会計名	予算額	前年度比 (%)
水道事業	22億9,239万3千円	4.1
工業用水道事業	1億2,564万7千円	△4.3
下水道事業	41億6,345万9千円	△2.9
合計	65億8,149万9千円	△0.6

予算や決算の状況は、市ホームページで公表しています。

本庁舎財政課 内2354

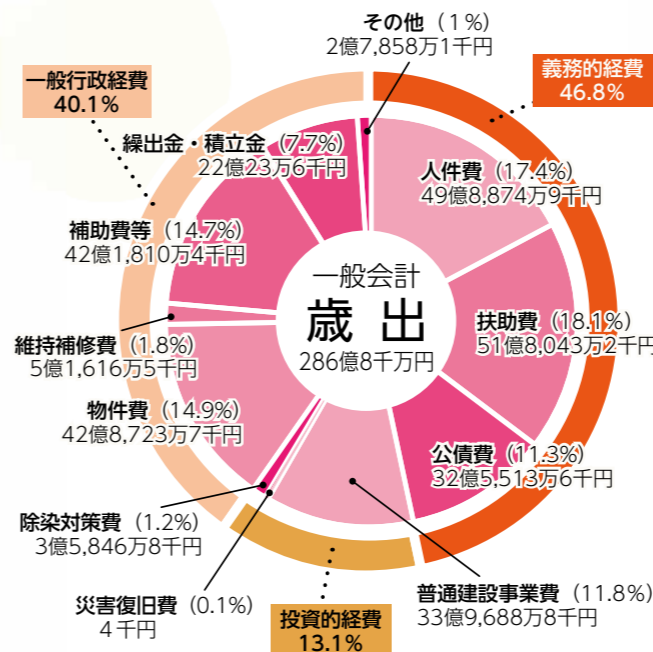


令和4年度当初予算のポイント
地域の将来を担う人を育て
いきいきと暮らせる楽しい白河

令和4年度一般会計予算
286億8千万円
予算規模は前年度比-0.1% (4千万円減)

●一般会計予算規模の推移

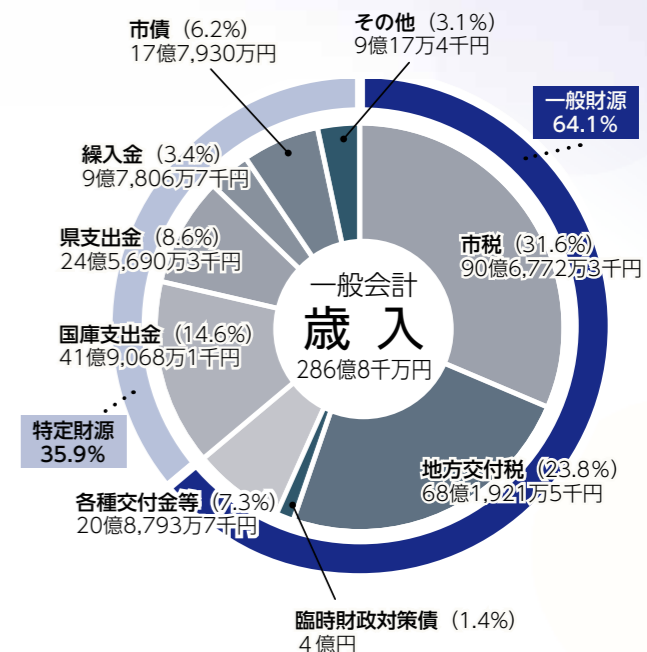
年度	歳出予算額
平成30年度	284億6千万円
令和元年度	283億2千万円
令和2年度	311億2千万円
令和3年度	287億2千万円
令和4年度	286億8千万円



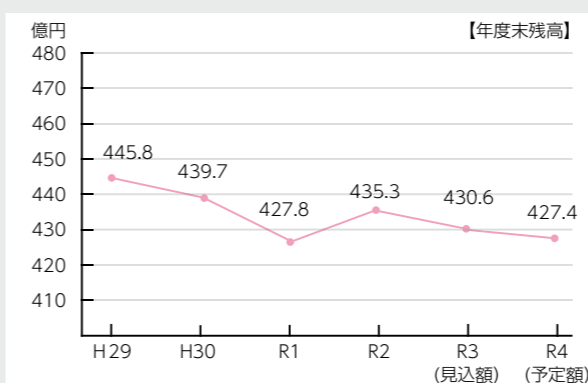
令和4年度 当初予算

今年度の一般会計予算総額は、286億8千万円となり、前年度予算に比べて4千万円(0.1%)減少しました。

人口減少対策や地域経済活性化に向けた事業の推進、アフターコロナでの地域活力再生など、未来の白河を創造する施策に重点を置いた予算としました。

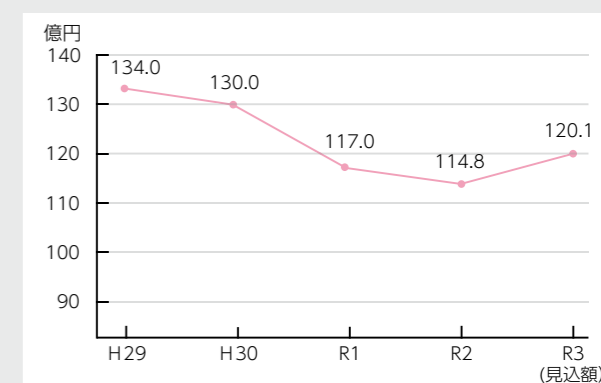


市債・企業債の推移



市の「借入金」である市債(臨時財政対策債を除く)・企業債は、計画的に借入れと返済を行っています。

基金の推移



市の「貯金」である基金は、住民福祉の向上や教育・文化の振興など、目的に応じて有効に活用しながら、将来の健全な財政運営のため、着実に積み立てを行っています。